

経営比較分析表（令和4年度決算）

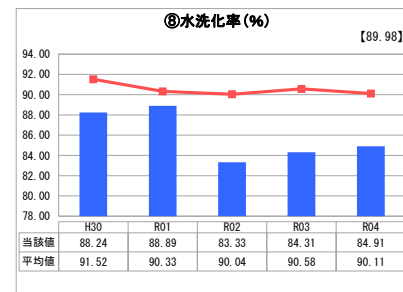
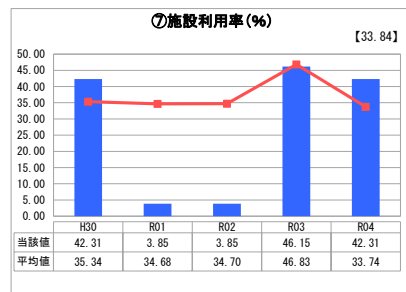
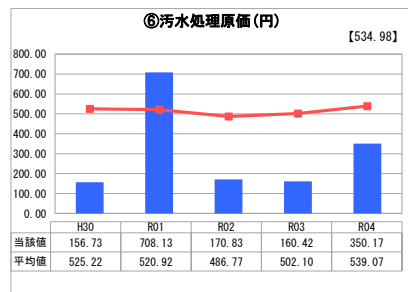
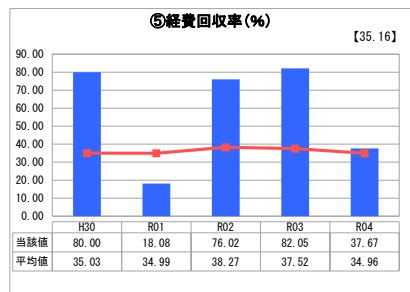
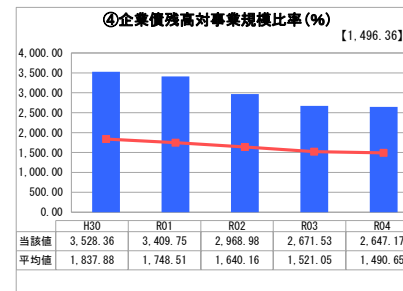
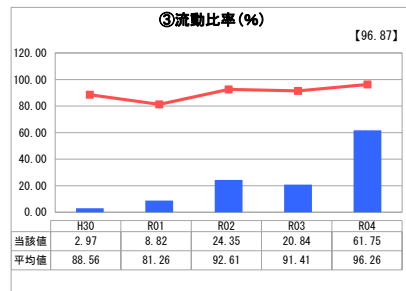
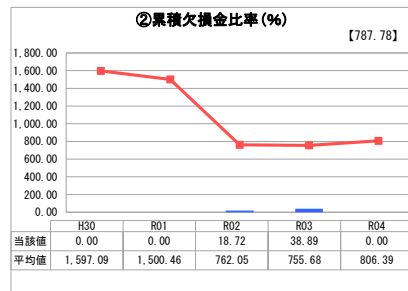
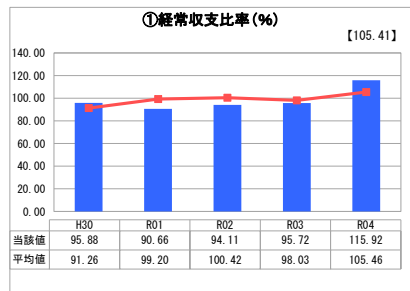
石川県 加賀市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	小規模集合排水処理	12	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	48.94	0.08	98.77	2,700

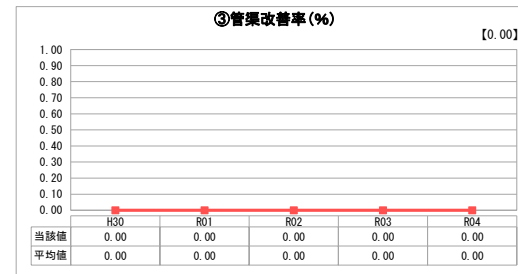
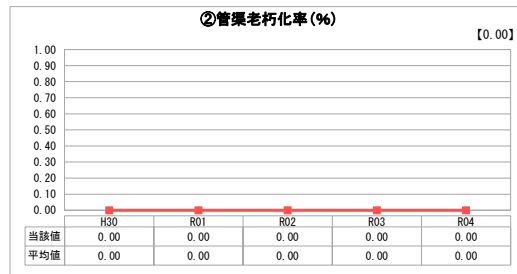
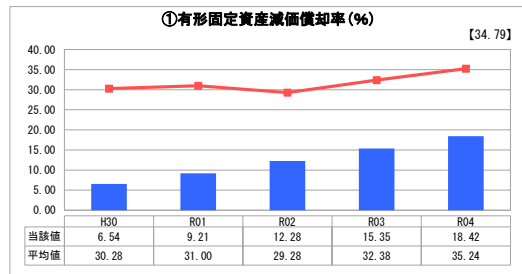
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
63,486	305.87	207.56
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
53	0.03	1,766.67

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業では、使用料収入は安定しているといえるが、今後、人口減少による収益の減少が予測される。
また、流動比率が低く、企業債残高対事業規模比率も高いため、費用削減の検討、施設利用率の向上など経常収支比率の改善に向けて取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始から約25年以上経過しており、施設及び管路の老朽化による更新費用が年々増加してきていることから、今後、老朽化に伴う更新需要の増加が見込まれることから、更新、長寿命化の計画により、投資を平準化しながら安定した経営を行っていく。

全体総括

本事業は事業規模が小さいことや、世帯人数の減少や節水等により使用料収入の減少が危惧されるが、維持管理費用の削減や、老朽化による更新を計画的に行い、健全な経営を持続していく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。